



海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

会長メッセージ

大家好！（皆さん、こんにちは！）私たちは発足して間もない大蘇州稲門会です。蘇州市は上海から約100キロメートル、車で約2時間、高鉄（新幹線）では30分強というロケーションにあり、日系企業が数多く進出しているため在留邦人数は中国の上位に入る地域です。おそらく早稲田大学の校友の方々も大勢いらっしゃると思いますが、発足間もないということもあり、まだまだ少人数の稲門会です。現在は

定期的で開催している懇親会が活動の中心となっていますが、今後は趣味やレクリエーションなどの活動を通じて会員間の交流をいっそう深めるとともに、さらに多くの校友の方々に参加していただける稲門会にしたいと考えています。それぞれの立場で「理想の光」を追い求めて、ここ蘇州で頑張っている多くの校友の方々の憩いの場となれるよう活動していきます。
石井義孝(1988年社会学)

会員からのメッセージ

40歳をとうに過ぎた今でも年に数回、早稲田大学の入試に落ちる夢を見る私。夢の中の絶望感は半端なく、目が覚めてかみ締める安堵感は極上です。そんな私ですが昨夏に蘇州に赴任、迷わず当会に加入させていただきました。その後、幹事長(という名の宴会部長)を拜命、紳士的な会合(という名の飲み会)を毎月絶賛開催中。さながらそこはさかえ通りの某S龍。年齢・職種の壁を越えて、最後に「紺碧の空」「都の西北」を熱唱するころには、みんなすっかりお友達。さあ、あなたも一緒に歌いましょう！
中村 仁(1997年商学)

つ、海外駐在という共通項で結びついた仲間たちと交流の場が持てるのは幸せなことだと、今更ながら母校の存在に感謝する気持ちになりました。蘇州に赴任されましたら、ぜひ稲門会へ。お待ちしております！
志賀英哲(2004年政経)

「何かコミュニティに入るべき」と言われて開いた無料情報誌「Whenever」には大蘇州稲門会の特集が。参加させていただくと、そこにはなぜか懐かしい空気が漂っていました。「集まり散じて 人は変われど」、和気あいあいと懇親を深めています。早稲田出身という共通項でつながれる素晴らしい会です。人生を充実させる一助として、蘇州に滞在される際は、ぜひご加入ください。
伊藤 遥(2009年理工)

赤黒と黒黄の戦い、学生時代に胸が熱くなった早慶戦が蘇州でも開催できるとは夢にも思っていませんでした。戦いといっても、ラグビーの激しいタックルの応酬ではなく、どっちの校友会旗が大きいやら小さいやらと笑い飛ばす、和やかな戦いです。学生時代の戦いは終わって常時ノーサイドのアットホームな雰囲気。今後も他大学校友会との集まりを大切に、楽しい会にしていきたいと思っています！蘇州にお越しの際はいつでもお声掛けください！
尾崎拓矢(2009年国際教養)

大蘇州稲門会について

大蘇州稲門会は、2017年3月に設立されました。初代松岡会長、2代目石井会長を中心に日本人駐在員(蘇州市には約1,800社の日



前会長送別会

系企業があります)や日本に留学経験のある中国人・蘇州人(蘇州中学からも留学生を多数輩出)など、老若男女約50人で国籍や世代、職種の垣根を越えて集まり、親睦を深めています。主な活動内容は毎月行われる懇親会で、半年に1度、蘇州三田会との合同懇親会を行っています。今後は蘇州名物「大闸蟹」(日本名は上海蟹ですが、蘇州が産地です)を食す会、水の都蘇州を代表する太湖でのゴルフコンペ、長江を眺めながらのバーベキューなどで交流を図り、蘇州と中国と早稲田の懸け橋として大蘇州稲門会をさらに発展させ、盛り上げていきたいと思っています。卒業生の皆さま！蘇州にお越しの際には、大蘇州稲門会にぜひご参加ください。「都の西北」を蘇州にとどろかせましょう！
川崎正和(2006年政経)

蘇州の魅力

江蘇省蘇州市は、上海市から約100キロメートルほどの所に位置し、総人口約1,050万人の大都市です。昆山や常熟といった周辺区域も含めた市域面積は広島県とほぼ同じ約8,500平方キロメートルです。昔から中国では「上有天堂,下有蘇杭」(天に極楽あり、地に蘇州と杭州あり)といわれるくらい美しい街とされ、水運が発達したさまは「東洋のベニス」とも呼ばれています。古くから絹織物で発展した由緒ある都市で、「蘇州古典園林」など数多くの世界遺産を有することでも知られています。近年の蘇州はその立地の良さから工業地帯としても急速に発展しており、日系企業も数多く進出しています。上海・北京に次ぐ約6,700人の在留邦人がおり、全日制の日本小学校では小学・中学校合わせて約350人の児童・生徒が学んでいます。蘇州は治安が良く、買い物や食事をするのにも便利で、日本人が安心して生活できる環境が整っています。校友の皆さま、ぜひこの素晴らしい地「蘇州」へお越しください！
杉山達也(1990年政経)

(上)上海ではなく蘇州が産地の上海蟹
(下)運河沿いに古い街並が残る山塘街



蘇州三田会と行う早慶戦

